

文化の秋に花開く

華やかに益城町文化祭開催

「人の和と芸術」をテーマに、第19回益城町文化祭が、10月24日から11月1日にかけて華やかに開催されました。

10月24、25日にはステージ部門が町文化会館で、10月31日、11月1日には町公民館と町民体育館で展示部門が開かれ、たくさんの方が芸術の秋をたのびました。

今年も町文化協会（末武有二会長）の主催で、各部門から52団体が参加し、日ごろの活動の成果と、美と技の秀作を余すところなく披

露しました。

ステージ部門では、田上摩耶さん（津森小4年）と矢野明子さん（益城中央小4年）の童話発表で幕を開け、邦・洋楽、日舞、民謡、吟詠などで、参加者たちは芸術性の高い磨きぬかれた舞台を披露し、観客を魅了しました。

展示部門でも、華道、文学・書道、美術・工芸など幅広い分野で、地道に積み上げ花開いた力作が、訪れた人の目をいつまでも引き付けていました。



ステージ部門では日々の練習の成果をみごとに発揮



多くの力作が並んだ展示部門

ソフトバレーボールで九州2位

シルバーの部で本町のM. S. Vチーム

ソフトバレーボールの九州、全国大会予選が今年6月に宇土市で行われ、シルバーの部で九州大会出場の切符を手に入れたM. S. Vチーム（堀田和子代表）が、本大会で見事2位に輝きました（18チーム出場）。

大会は、11月7、8日に大分市で開かれ、1パート3チームの予選で1勝1敗だった同チームは、翌日の順位別決勝リーグ戦で沖縄と長崎のチームと対戦。2勝0敗で2位グループの優勝を決めました。

毎週1回金曜日に町総合体育館で練習している同チーム。代表の堀田さんは「来年は1位優勝を目指します。部員も募集中です」と飛躍を誓っていました。

M・S・Vのみなさん



県予選を制した益城中女子ソフト部のみなさん

益城中女子ソフト部が九州大会へ

10月17、18日の2日間で行われた第20回全九州中学生選抜ソフトボール大会県予選会（新人戦）で、益城中学校女子ソフトボールチームが見事優勝を果たし、九州大会（沖縄市）への出場権を獲得しました。

17日（飽田公園）の初戦こそ、緊張感から力を出し切れず苦戦したものの、順調に勝ち上がった同チーム。18日（坪井緑地公園）の準決勝、決勝では強豪の人吉一中、松橋中に2対1、2対0と競り勝ちました。

少ない部員数（2年7人、1年4人）ながらも全員で勝ち取った栄冠。上位入賞を目標に、選手たちの眼は光り輝き、一段と練習に熱が入っています。